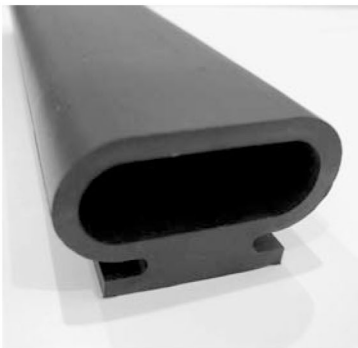


年月日	20	03	09	ページ	10	NO.	
-----	----	----	----	-----	----	-----	--

膨張シール

ラバーマテリアル



膨張シール(断面カット)



「技術者冥利に尽きる。しっかり期待に応えたい」と気を引き締める。

50年弱が経過し、シールメーカーには同手法で成形できる技術者がおらず、退社してゴム開発・設計会社を立ち上げていた竹延社長に廃炉に向けてのシール依頼が舞い込んだ。くしくも操業と廃炉に関わることになった竹延社長は

廃炉の安全確保、技術再び

ラバーマテリアル(大阪府八尾市、竹延清次郎社長、072・949・6550)は、東京電力福島第一原子力発電所の廃炉で使用する膨張シールをプラント機器メーカーに納入した。性能テストをクリアすれば複数個を製作する。膨張シールは炉のパイプを塞いで放射性物質漏れを防ぎ、周辺作業の安全性を確保する重要部材。竹延社長が大手シールメーカー技術者時代に、耐放射性を持つエチレンプロピレンゴムを継ぎ目のない一体成形にする手法を考案し、同原発の操業期に採用された。